

〔9〕大規模事故対策関係

〔放射性物質事故対策〕

1 県内の核燃料物質使用事業所の現状＜資料9－1＞

令和2年4月1日現在

事業所	所在地	用途等	種類
(公財) 日本分析センター本部	千葉市	①使用(検査・分析) ②貯蔵	①プルトニウム、天然ウラン ②劣化ウラン、トリウム
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	千葉市	使用(試験研究)	プルトニウム、低濃縮ウラン、ウラン233、天然ウラン、劣化ウラン、トリウム
JNC石油化学(株) 市原製造所 (旧チッソ石油化学(株) 五井工場)	市原市	貯蔵	劣化ウラン
(一財) 電力中央研究所我孫子運営センター	我孫子市	貯蔵	プルトニウム、天然ウラン、トリウム
住友化学(株) 千葉工場 (旧住友化学工業(株) 千葉工場)	袖ヶ浦市	貯蔵	天然ウラン、劣化ウラン
日本メジフィジックス(株) 千葉工場	袖ヶ浦市	使用(放射性同位元素の輸送)	劣化ウラン(輸送に使用する遮蔽容器の素材の一部が劣化ウラン)
(株) 藤井製作所 千葉工場	白井市	貯蔵	プルトニウム
富士フィルム富山化学(株) 千葉工場 (旧(株) 第一ラジオアイソトープ研究所千葉事業所)	山武市	①使用(放射性同位元素の輸送) ②貯蔵	①劣化ウラン(輸送に使用する遮蔽容器の素材の一部が劣化ウラン) ②天然ウラン

2 県内の放射性同位元素等使用事業所の現状＜資料9－2＞

〈出典 原子力規制委員会ホームページ〉

令和4年3月31日現在

区分	医療機関			研究機関			教育機関			民間機関			その他機関			総数		
	許可	届出	計	許可	届出	計	許可	届出	計	許可	届出	計	許可	届出	計	許可	届出	計
千葉県	32	9	41	6	12	18	11	7	18	44	190	234	0	40	40	93	258	351

3 近隣地域の原子力施設等（原子力艦含む）の現状＜資料9－3＞

〈出典 茨城県地域防災計画〉

事業所名	所在地
日本原子力発電(株) 東海発電所・東海第二発電所	茨城県那珂郡東海村
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	茨城県那珂郡東海村
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	茨城県那珂郡東海村
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所	茨城県東茨城郡大洗町 銚田市
三菱原子燃料(株)	茨城県那珂郡東海村 那珂市
ニュークリア・デベロップメント(株)	茨城県那珂郡東海村
国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	茨城県那珂郡東海村
原子燃料工業(株)東海事業所	茨城県那珂郡東海村
日本核燃料開発(株)	茨城県東茨城郡大洗町
(公財) 核物質管理センター東海保障措置センター	茨城県那珂郡東海村

〈出典 神奈川県地域防災計画〉

事業所名	所在地
(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	神奈川県横須賀市
東芝エネルギーシステム(株)原子力技術研究所	神奈川県川崎市

〈出典 神奈川県ホームページ〉

横須賀は、佐世保（長崎県）、ホワイトビーチ（沖縄県）とともに、我が国における米原子力軍艦の寄港地となっています。

【海上災害】

1 一般財団法人海上災害防止センター保有船舶及び保有資材一覧表＜資料9－4＞

表1 保有船舶（資材等）一覧表

船 名	総トン 長さ 馬力	速力	喫水	航行 区域	保有資材			油 処 理 剤 (リットル)	消火設備			備 考
					オイルフェンス		放水銃		消火用	粉末放射量 (kg／秒／基) 薬剤保有量		
					名 称	水面上 高さm					長 さ m	
おおたき 090-3022-2771	199.00	15.28	2.835m	沿海	(1) B型 固形式 E P －300S	0.3	40	—	18,000 リットル／分×1	22,000 リットル 泡原液	40kg	消防船
					4,000 リットル／分×1				5,100kg		放水銃泡水兼用	
	1,800×2				(2) B型 充気式	400	3,000 リットル／分×1		油処理剤散布装置 (360 リットル／分× 2)			
きよたき 090-3023-6053	263.00	16.00	3.00 m	沿海	(1) B型 固形式 E P －300S	0.3	20	—	18,000 リットル／分×1	22,000 リットル	40kg	消防船
					4,000 リットル／分×1				5,100Kg		放水銃泡水兼用	
	1,800×2				(2) B型 充気式	400	1,800 リットル／分×2		油処理剤散布装置 (K-4A 型×1)			

表2 油防除資材一覧表

場所	資材名	油回収装置	油吸着材 kg	油処理剤 リットル	オイルフェンス m
千葉中央埠頭 [テント倉庫D棟]		—	3,230	8,018	2,000 (B 型)
横須賀市横須賀新港		2	3,202	8,020	3,000 (B 型)
センター千葉基地 (北／南)	小型油回収装置(フォアレックスミニスキマー×1基:回収能力 約30KL/h)、TDS250OLPスキマー×1基:回収能力 約130KL/h、可搬式一時貯蔵タンク、中型ツインノズル消火装置×1基、その他保護具検知器(防護服、空気呼吸器、可燃性／有害ガス検知器、防毒マスク及び各種吸収缶)、海水等サンプリング資機材、ゲル化剤・吸収性ポリマー等海上災害対応用資機材一式保有				

2 (株)ダイトーコーポレーション千葉支店保有船舶及び保有資機材一覧表 <資料9—5>

船 名 船舶電話	総トン数 長さ 馬力	速 力	航行 区域	保 有 資 器 材				展張速度 m/分	巻揚 装置	消 火 設 備			備 考	
				オイルフェンス			油処理剤 リットル			油吸着 マット k g	放 水 銃 用 泡 水 兼 用 (リットル/分/基)	消火用 泡原液 リットル		粉末放射量 (kg/秒/基) 薬剤保有量
				名 称	水面上 高さm	長さ m								
と き わ 090-3022-7885	175.00 29.03 1,550×2	14.0	平水	カマ産業 ﾀﾀ型 (B)	0.3	300	2,000	101	45	なし	6,000 ×1 3,000 ×2	9,000	35 2,000	消防曳船 放水銃泡水兼用
さきもり1号 090-3023-7553	173.00 29.03 1,550×2	14.0	平水	同上	0.3	300	2,000	101	45	同上	6,000 ×1 3,000 ×2	10,000	35 2,000	同上
ほ く と 090-3023-46584	179.00 32.25 1,800×2	14.0	平水	同上	0.3	300	2,000	101	45	同上	12,000 ×1	11,000	35 2,000	同上
の じ ま 090-2241-9955	24.00 19.95 450×2	19.0	平水	—	—	—	—	95	—	同上	3,000×1	—		交通艇兼作業船
か い ほ う 090-3022-7945	19.00 18.10 812×2	15.0	平水	カマ産業 ﾀﾀ型 (B)	0.3	300	600	95	50	同上	3,000×2	600		オイルフェンス展張兼作業船
あくあまりん 090-3022-3572	19.00 18.20 420×2	17.0	平水	—	—	—	—	95	—	同上	3,000 ×1	—		同上
ひまわり 090-3025-7652	18.00 15.97 520×2	21.0	沿海	—	—	—	—	51	—	同上	2,000 ×1	—		同上
どりーむ 090-3022-5723	17.00 16.50 360×2	21.0	沿海	—	—	—	—	—	—	同上	—	—		同上
つるしげ丸	17.00 17.05 575×2	18.0	沿海	—	—	—	—	51	—	同上	1,000 ×1	200		同上
大東防災1号 090-3334-5789	19.00 17.85 420×2	10.6	平水	カマ産業 ﾀﾀ型 (B)	0.3	1,080	300	95	75	油圧式 リール	3,000 ×1	300		オイルフェンス展張作業船 放水銃泡水兼用 市原・袖ヶ浦海上共同防災
大東防災2号 090-3108-4755	19.00 17.60 420×2	11.2	平水	同上	0.3	810	300	95	75	同上	3,000 ×1	300		オイルフェンス展張作業船 放水銃泡水兼用 千葉海上共同防災配属
大東防災3号	19.00 17.60 420×2	11.2	平水	同上	0.3	810	300	95	75	同上	3,000 ×1	300		オイルフェンス展張作業船 放水銃泡水兼用 市川・船橋海上共同防災配属
大東防災5号	300 トン	被曳航	平水	SK-750 カマﾀﾀ B型	0.3	2,000	5,004 他に優先使用 3,000	3,230	45	同上	250 ×1	—		海上災害防止センター 千葉県基地資器材備蓄船
内タン防災船	180 トン	同上	平水	ﾀﾀ工業 B型	0.3	600	756	600	—	—	—	—		全国内航タンカー組合 関東支部千葉ターミナル 資材備蓄船

船 名 船舶電話	総トン数 長さ 馬力	速 力	航行 区域	保 有 資 器 材					展張速度 m／分	巻揚 装置	消 火 設 備			備 考
				オイルフェンス			油処理剤 リットル	油吸着 マット k g			放 水 銃 用 泡 水 兼 用 (リットル／分／基)	消火用 泡原液 リットル	粉末放射量 (kg/秒/基) 薬剤保有量	
				名 称	水面上 高さm	長さ m								
千葉港在船 みずほ 090-3026-7061	179.00 32.25 3,600	14.20	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		曳船
千葉港在船 はやぶさ 090-3022-5808	230.00 37.16 4,000	15.10	限定 沿海	—	—	—	0	—	—	—	6,000 ×1 500 ×2 350 ×1	6,400	35 2,000	消防曳船 放水銃泡放水兼用
千葉港在船 だいおう 090-3022-7724	233.00 36.25 3,600	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	3,000 ×1 500 ×2 350 ×1	3,000	35 2,000	同上
千葉港在船 おおとり 090-3022-1829	249.00 37.16 4,000	14.50	限定 沿海	—	—	—	0	—	—	—	6,000 ×1 500 ×2 350 ×1	6,400	35 2,000	同上
横浜港在船 てんざん 090-3022-2442	233.00 36.26 3,600	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	3,000 ×1 500 ×2 350 ×1	0		曳船
横浜港在船 あけぼの 090-3023-4485	232.00 36.25 3,600	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 ゆみはり 090-3023-6345	245.00 36.25 3,600	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 さくら 090-3026-1796	178.00 32.25 3,600	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 くろがね 090-3022-0868	245.00 36.26 4,000	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 やまと 090-3023-1959	181.00 32.25 3,600	14.00	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 たちばな 090-3022-4101	239.00 36.06 4,000	14.50	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 にしき 090-3024-3077	175.00 32.25 3,600	14.20	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上
横浜港在船 ちとせ 090-3022-7412	175.00 32.25 3,600	14.30	平水	—	—	—	0	—	—	—	350 ×1	0		同上

【航空機災害】

1 成田国際空港株式会社の消防力 <資料9-6>

表1 社員及び消防救難用車両

ア 消防救難業務従事者 93名

イ 消防救難用車両現有数

令和7年1月1日現在

種 類	保 有 台 数	水 タ ン ク 積 載 量	水成膜泡消火 薬 剤 積 載 量	粉 末 タ ン ク 積 載 量	放射能力	備 考
大型化学消防車 (12500型)	1	12,500 ℓ	960 ℓ	300 kg	6,000 ℓ/min	(1台あたり)
(12500型)	1	12,500 ℓ	800 ℓ	300 kg	6,000 ℓ/min	
(10500型)	2	10,500 ℓ	880 ℓ	300 kg	5,700 ℓ/min	
大型化学消防車 HRET 装備 (10500型)	2	10,500 ℓ	880 ℓ	220 kg	6,600 ℓ/min	(1台あたり) 放水銃同時放射最大能力
給水車	2	8,000 ℓ	290 ℓ		3,000 ℓ/min	(1台あたり)
	1	8,000 ℓ	290 ℓ		1,500 ℓ/min	
救急車	2					
指揮車	1					
破壊救難車	1					空気膨張式テント 1張
救急医療器材 搬送車(トレー付)	1					空気膨張式テント 5張 救急医療資器材一式
総合指揮車 (現場調整所用 車両)						会議用机、椅子 臨時電話回線設備(12)等
フォークリフト車	1					

表2 消火薬剤保有状況

令和7年1月1日現在

常置場所	消火薬剤名	数 量	保 有 形 状	備 考
空港消防所	水成膜泡消火薬剤 (3%)	6,150 ℓ	消防車搭載	960 ℓ/台×1台 880 ℓ/台×4台 800 ℓ/台×1台
〃	〃	7,860 ℓ	泡タンク車 及び備蓄倉庫	泡タンク車 3,600ℓ 備蓄倉庫 4,260ℓ
〃	粉末消火薬剤	1,640 kg	消防車搭載	300 kg/台×4台 220 kg/台×2台 200 kg/台×1台
〃	〃	2,970 kg	備蓄倉庫	

2 成田市及び成田国際空港周辺市町村の消防力＜資料9－7＞

表1 消防職員数

令和3年4月1日現在

消 防 本 部	人 数 (人)
成田市消防本部	250
栄町消防本部	46
印西地区消防組合消防本部	280
富里市消防本部	84
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	412
四街道市消防本部	125
香取広域市町村圏事務組合消防本部	211
匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	109
山武郡市広域行政組合消防本部	277
合 計	1,794

表2 消防ポンプ自動車等現有数

令和3年4月1日現在

種 別	消防本部	成田市消防本部	栄町消防本部	印西地区消防組合消防本部	富里市消防本部	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	四街道市消防本部	香取広域市町村圏事務組合消防本部	匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	山武郡市広域行政組合消防本部	合 計
普通消防ポンプ自動車		5	1	5	1	10	1	6	3	5	37
水槽付消防ポンプ自動車		8	1	6	2	10	4	5	3	7	46
はしご付消防自動車	1 8 m以下										
	2 4 m										
	3 0 m			1		1	1	1			4
	3 8 m以上	1								1	2
屈折はしご付消防自動車		1		1		1	1				4
大型高所放水車											
泡原液搬送車											
化学消防車	泡消火型	2		2		2	1	3	1	2	13
	粉末消火型										
指揮車		6	1	1		6	1	2	1	4	22
救急自動車		9	3	8	3	13	4	8	4	9	61
救助工作車		2	1	1	1	2	1	1	1	3	13

消防本部										
種 別	成田市消防本部	栄町消防本部	印西地区消防組合消防本部	富里市消防本部	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	四街道市消防本部	香取広域市町村圏事務組合消防本部	匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	山武郡市広域行政組合消防本部	合 計
小型動力ポンプ積載車										
小型動力ポンプ				2						2
電源・照明車					1					1
広報車	6		8	1		3	1	4	6	29
その他車両	11			4	8				1	24

表3 化学消火薬剤保有状況

令和3年4月1日現在

薬剤種別	たん白系 (k l)		合成界面活性剤 (k l)	水成膜泡消火薬剤 (k l)
	3%型	6%型		
消防本部				
成田市消防本部	0	0	0	2.26
栄町消防本部	0	0	0.34	0
印西地区消防組合消防本部	0	0	1.17	1.16
富里市消防本部	0	0	1	0
佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本部	0	0	1.8	0.56
四街道市消防本部	0	0	1.6	0
香取広域市町村圏 事務組合消防本部	0.2	0	1.05	0.32
匝瑳市横芝光町 消防組合消防本部	0	0	0.88	0
山武郡市広域行政組合 消防本部	0	0	4	0.64
合 計	0.2	0	11.84	4.94

3 成田国際空港の概要＜資料9－8＞

表1 空港主要施設の概要等

令和5年9月1日現在

主要施設	現在供用中の施設
空港敷地面積	約1,147ha
滑走路	A滑走路 4,000m×60m B滑走路 2,500m×60m
誘導路	延長約29.9km 幅30m、25m、23m
エプロン	面積 約262ha スポット 201
航空機給油施設	敷地面積 約19ha
空港石油ターミナル (第1給油センター)	鋼製屋外地上タンク 25基 (約144千kl分)
第2給油センター	敷地面積 約13.2ha 銅製屋外地上タンク 8基 (約48千kl分)
ハイドラント	給油スポット 171
航空保安施設	
	VOR (超短波全方向性無線標識施設) 1局
	DME (距離測定装置) 1局
	ILS (測器着陸装置) 4式
(空港事務所所轄分)	ASR/SSR (空港監視レーダー) 2式
(同上)	ASDE (空港面探知レーダー) 2式
(同上)	AG (対空無線装置) 送信所 4局
(同上)	AG (対空無線装置) 受信所 2局
	マルチラレーション 1式
航空灯火	A滑走路対応 (進入灯, 滑走路灯等) 1式 B滑走路対応 (進入灯, 滑走路灯等) 1式
旅客取扱施設	第1旅客ターミナルビル (延床面積約46.3万㎡) 第2旅客ターミナルビル (延床面積約39.1万㎡) 第3旅客ターミナルビル (延床面積約11.0万㎡)
貨物ターミナル	日航貨物ビル、第1貨物ビル、第2貨物ビル 第3貨物ビル、第4貨物ビル、第5貨物ビル 第6貨物ビル、第7貨物ビル、輸入共同上屋ビル、第1貨物代理店ビル、第2貨物代理店ビル、 第2貨物代理店ビル付属棟、保税通関ビル、 貨物管理ビル、整備地区貨物上屋、燻蒸倉庫、 天浪地区貨物上屋、南部第1～第6貨物ビル (合計延面積 約28.6万㎡)
航空機整備施設	日航第1ハンガー (幅190m, 奥行90m) 日航第2ハンガー (幅100m, 奥行90m) 日航第3ハンガー (幅105m, 奥行85m) 日航Aハンガー (幅155m, 奥行90m) 全日空第1ハンガー (幅200m, 奥行90m) NCAライン整備ハンガー (幅84m, 奥行90m) ノイズリダクションハンガー (幅80m, 奥行103m)
駐車場	面積 約33ha 駐車能力 約12,000台